

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【子どもの運動遊び推進事業】

推進当初

申請者	山梨県甲府市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	250,148千円 (39,733千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	3歳から6歳までの幼児期に遊びを通じて、多様な動きを経験することが、運動能力の向上や健全な心身の発育に資するとされていることから、子どもの「丈夫な身体」と「しなやかな心」を養い、子どもの健やかな成長に繋がるよう、「人づくり」と「環境づくり」の両面から、子どもの運動遊びを推進することを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内運動遊び場の利用促進に要する経費 ・指定管理料 23,750千円 ○屋内運動遊び場事業の実施に要する経費 ・警備、AED、修繕等 1,014千円 ○屋内運動遊び場運営費 14,969千円 ・民間所有施設の一部を借り受けるための経費 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①「屋内運動遊び場」利用者数 (+62,000人) ②実技8種目の合計値により算出するスポーツ庁の全国体力・運動能力調査結果の全国と甲府市との差 (本市の小学校5年生男子の数値-全国の小学校5年生男子の数値) (+1.10点) ③実技8種目の合計値により算出するスポーツ庁の全国体力・運動能力調査結果の全国と甲府市との差 (本市の小学校5年生女子の数値-全国の小学校5年生女子の数値) (+1.10点) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.kofu.yamanashi.jp/renkei/sdgs_senryaku.html</p> <p>https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kodomoooen/asobiba/oshiroland.html</p>

事業概要【スポーツで稼げる県づくり推進事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	67,909千円 (16,862千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>県、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによる地域活性化を推進していく組織として、地域スポーツコミッションを設立し、コンセプトに「自然を生かしたアウトドアスポーツアクティビティを「山梨」で」を掲げ、最大の地域資源である恵まれた自然環境を生かしたアウトドアスポーツアクティビティを楽しむことのできる環境づくりを行うこととして、アウトドアスポーツアクティビティの開発・検証、県有資産を活用したイベントの開催、スポーツ関連データの収集・分析、人材の育成等の事業を実施していくこととしている。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○県、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによる地域活性化を推進していく組織として、地域スポーツコミッションの設立を目指し、有識者を集めた準備委員会を開催。(補助金) 326千円</p> <p>○アウトドアスポーツアクティビティの開発・検証、県有資産を活用したイベントの開催、スポーツ関連データの収集・分析、人材の育成等の事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしサイクルツアーガイドの養成 (補助金) 1,795千円 ・県営南アルプス林道を活用したサイクルツアーの企画・開催 (補助金) 4,741千円 ・スポーツイベント等開催支援 (補助金) 10,000千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①スポーツコミッション実施事業参加のための来県者数 (当該年度目標値300人)</p> <p>②スポーツコミッション実施事業参加者の県内消費額 (当該年度目標値6000千円)</p> <p>③エスコートライダー養成者数 (当該年度目標値15人)</p>	<p>関連URL</p>	<p>山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)</p>

事業概要【やまなしスマート林業推進事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	96,265千円 (10,744千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>・本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図るものである。</p> <p>・「スマート林業」は、林業経営体、木材加工事業者、流通事業者といった幅広い業界が関連する先進的な取り組みであり、県が主体となり、プラットフォームの整備、森林情報のクラウド化、デジタル森林情報の整備、新たな森林整備手法のモデル実施・普及により、スマート林業の初期段階の立ち上げを行う。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図る。</p> <p>・やまなしスマート林業推進協議会において、スマート林業の推進に向けた情報共有を図るとともに、現場作業の省力化・軽労化を目的とした先進的な機械等に関する研修会等を開催。(委託料) 990千円</p> <p>・県が保有する森林資源情報、市町村が保有する森林所有者情報、製材工場等が保有する木材需要情報を一元管理し、情報共有する基盤として県森林情報管理システムをクラウド化することで、森林の適正な経営管理、木材生産量の増大を図る。(委託料) 7,208千円</p> <p>・意欲や能力のある林業経営体に対して、ICTを活用した木材の生産・出荷、木材加工・流通事業者や住宅メーカー・工務店などの需要者との需給情報の共有等を試行するにあたり、必要となる次世代型高性能林業機械のレンタル経費を補助する。 (レンタル経費の補助金) 1,650千円</p> <p>・木材資源が充実したエリアを中心に、立木本数や地形等の森林情報を取得するために必要な機器等(ドローン、地上型レーザスキャナ、CAD・解析ソフト、PC等)を整備することで、現場での調査・測量といった従来型のプロセスから大幅に改善し、収益性の高い木材生産を推進する。(備品購入費、役務費、委託料) 896千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①木材生産量 (+44.00千³mメートル)</p> <p>②林業の新規就業者数 (+6人/年)</p> <p>③モデル地区における木材生産性 (+1.20³m/人日)</p> <p>④県が主体となってモデル的にデジタル森林情報の整備を行う地区数 (+4地区/年)</p>	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

事業概要【やまなしハイクオリティブランド事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	291,852千円 (96,267千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	強化を進めてきたワイン・地場産業等のやまなしブランドに新たに高付加価値と高品質化を追求することで、他地域との差別化を図る。また、新たな販路開拓やブランド確立後のプロモーション等を見直し、さらなる展開を図る。国内外における認知度の向上が、市場における高価格での販売を促進し、収益性を高めることで地域経済を活性化させ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	<p>○前身事業において地域間競争を勝ち抜くために差別化・浸透を図ってきた事業については、さらなるブランド確立のため販路拡大と高品質化・高付加価値化をめざしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイン：県産ワインの販路拡大及び産地山梨ブランド力向上のためのPR。(補助金・委託料) 8,000千円 ・ワイン：さらなる高品質化に向けた取り組みの支援。(補助金) 450千円 ・日本酒：本県の「水ブランド戦略」と連携を図り、あわせて発信することで日本酒のプロモーションを強化していく。(補助金・委託料) 6,150千円 ・「名水の地」ブランド化推進事業費。(役務費・委託料) 9,916千円 ・ワイン・日本酒交流：業者間のネットワーク構築のための交流会や、販路拡大のための技術セミナー開催、産業技術センターの食品科学的な品質評価機能強化等の経費。(報償費・使賃料・講師旅費・需用費) 580千円 ・リアルタイムPCR等の発酵管理機器の整備(備品購入費) 18,422千円 ・ジュエリー：産地PRイベントの核であるやまなしジュエリーウィーク、ジュエリーショップの集客強化。(補助金) 2,000千円 ・織物：近年需要が低迷しているため生産額が低下し、海外販路の開拓や自社ブランド・直販等のBtoC比率の増加。(報償費・専門家旅費・需要費・補助金) 3,622千円 ・茶：生産力向上と開発支援を行うことで高付加価値化につなげる。(補助金・需用費・役務費・使賃料) 1,962千円 ・すもも：米国産にほんすももの輸入が解禁されたことにより脅威にさらされた県産すももを高品質に生産できる体制づくり。(補助金) 38,400千円 <p>○前身事業において体制整備や各フェーズに応じた取り組みを展開してきたが、ブランド確立後の販路開拓やプロモーション等を見直し、さらなる展開を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産特産林産物：種菌等を購入し、自主的に栽培に取り組む生産者を支援。(補助金・役務費・委託料) 823千円 ・県産魚：新たな販路を開拓するため、展示会等に出展し流通事業者等に効果的なプロモーションを実施。(需用費・委託料・補助金) 4,757千円 ・花き：産地力の向上や活性化を図るため、市場商談会への出展を支援する。(使賃料) 234千円 ・高品質化、省力化、効率化等、生産性の向上に資する技術等の現地実証に必要な種苗費や生産資材に対する補助。(補助金) 250千円 ・ジビエ：これまでジビエのPRや新たな販路の開拓等について検討し一定の成果が見られたため、次の段階としてジビエの供給力不足を改善するため体制強化に新たに取り組んでいく。併せて、新たな生活様式に適合し、SNS等を活用し広く消費者へ周知するために、飲食店等で行うジビエフェア等のリアルプロモーションとデジタルコンテンツを活用。(報償費・委員旅費・負担金) 270千円 ・アニマルウェルフェア：研修会を開催し、前事業にて創設した認証制度の理解醸成・普及を図る。(委託料) 431千円 		
KPI	<p>①支援事業を通じた甲州ワイン年間輸出数量 (+4.38万本)</p> <p>②高品質なすももの生産量 (+300トン)</p> <p>③きのこと類の年間生産量 (+22.50トン)</p>	関連URL	<p>山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【市場ニーズに対応した戦略的海外事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	313,961千円 (112,053千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	消費行動や社会情勢など大きく変化していく中で農業・産業・観光等と一体的なプロモーションを継続的に行うことで新たな商流の構築と深化を図るとともに、世界的に関心が高い環境問題についても積極的に取り組むことでこれまでとは違った販路を獲得する。また、変化していく市場ニーズに対応していくために地域産業人材の育成や、グローバルな視点を養っていくことで安定的な海外展開を目指す。		
事業概要・ 主な経費	<p>○継続的なプロモーションについてはコンテンツの拡充やデジタルとリアルを連動させたPRを行う一方で、支援対象を増加する。また、前身事業から浮き彫りとなった課題や前身事業で実施した市場調査の結果を踏まえ、商流の構築に向け、海外バイヤーとの商談活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産果実等の農畜水産物の輸出拡大に向けて、現地小売店等での販売促進イベント（リアル）とSNS等でのインターネットによる情報発信（デジタル）を組み合わせた効果的なプロモーション、マーケティング調査、流通システムの構築などに、生産者団体や輸出関係事業者と連携して取り組む。（委託料・委員報償・委員旅費）37,643千円 ・「おいしい未来へ やまなし」のブランド力の強化と商品を通じたロゴマークの認知度向上に向け、コロナ禍により変化している生活様式に対応するため、食材の魅力だけではなく、美酒美食体験をあわせてプロモーションを強力に実施。（委託費・委員報償・委員旅費・報償費・消耗品費）5,297千円 ・県内農業団体等により構成される「山梨県果実輸出促進協議会」が行う海外での販売促進活動を支援する。また、新たな輸出先国における市場開拓のための取り組みを支援する。（補助金）4,918千円 ・物流に係る知見を有する民間コンサルタントへの委託により、専門的な調査・分析をするとともに、それらの結果を基にした方策の検討や物流事業者への情報提供を行う。（委託料）21,659千円 <p>○4パーミル・イニシアチブのさらなる認知度の向上を目指すために、既存のPRに加えて新たに社会課題に関心の高い消費者（エシカル消費層）を対象としたPRを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏のシェフ、実需者に4パーミル・イニシアチブ農産物をはじめとした山梨県のエシカル農畜産物等の理解を促すための情報発信を行い、継続的な購買や取り扱いを促す。（報償費・委員旅費・委託料）12,066千円 <p>○DX人材強化のための環境整備や、デジタル技術導入促進、水素・燃料電池や医療機器、次世代半導体など本県に優位性のある産業分野の企業に対し、事業展開の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会全体のDX加速化に必要な技術を扱う人材を育成する（委託料）7,817千円 ・企業等の施策支援や、グローバル・スタートアップとして活躍する人材を育成する（委託料）22,653千円 		
KPI	<p>①県産果実の輸出額（+138.70百万円）</p> <p>②ビジネス展開促進事業を通じた商談件数（+210件）</p>	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「子育てしやすさ日本一」環境・魅力向上推進事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	281,379千円 (99,527千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	保育士人材の確保や保育の質の向上といった子育て環境の整備によって安心して子育て出来る環境をつくとともに、文化芸術・スポーツ・教育等の多角的な方面から施策を進めていくことによって本県の魅力を高めしていく。環境整備と魅力向上によって他県との差別化を図り、県内子育て世代のみならず、他県からの移住も呼び込むことで地方創生の実現と人口減少の克服を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○保育士確保・定着策等を実施する協議会を運営する。また、若い世代の県内保育所等への就職率を高めるためのツアーを実施するとともに、幅広い層の県民に対して子育ての理解と関心を深めることができるような普及啓発活動を行う。(報償費・委員講師旅費・需用費・役務費・使賃料) 1,729千円</p> <p>○適正な水準の保育提供と従事者同士の課題解決のため研修会開催経費。(報償費・講師旅費・需用費・使賃料) 81千円</p> <p>○通行量の多い場所への懸垂幕の掲示や県公用車へのマグネットシートの掲示などを通して、社会全体で子育てを支援する気運の醸成を図る。(需用費・委託料) 418千円</p> <p>○国立大学法人山梨大学が実施する胚培養士の育成・研修に要する経費を補助することで、胚培養士の養成に取り組む。(補助金) 7,500千円</p> <p>○県独自に実施した買い物環境調査の結果について集計等を行い、市町村へのフィードバックや県ホームページへの掲載を実施。当該データの利活用を図りつつ市町村等の効果的な取り組みを推進する。(補助金) 10,000千円</p> <p>○小規模小・中学校のデメリット解消に向け、特色ある教育活動 (ICT・地域の強みを活用等) を通して県内全体の教育の質の向上を図り、移住促進の誘因とする。(補助金) 19,000千円</p> <p>○県の教育課題に対応した教育モデル事業での、ICT等を活用した機材等の備品購入経費に対する補助。(補助金) 8,000千円</p> <p>○民俗芸能やクリエイターの活動、文化芸術の推進による創作活動を支援。(委託料・報償費・旅費) 5,885千円</p> <p>○民俗芸能等を活用した文化観光振興経費 (補助金) 13,750千円</p> <p>○山梨の文化・伝統を記憶遺産として保存するための冊子の作成及びプロジェクト推進のための周知・広報活動及びマニュアルの作成経費。(委託料) 6,339千円</p> <p>○本県の子育て施策の周知・子育て世代に向けたオンラインセミナーなどの情報提供を行う。(委託料) 13,331千円</p> <p>○子育て世代への関心を引き起こすWEB・SNS・冊子を活用した情報発信、地域コミュニティへの受入に向け県内関係団体と連携調整を行うための職員経費、コミュニティ受入に係る先例事例の共有のためのセミナー開催費。(報酬・職員手当等・役務費・共済費・報償費・旅費・使賃料・委託料) 3,440千円</p> <p>○東京圏のテレワーク可能な個人事業主、企業の社員等で二拠点居住に関心があるが、地域が決まっていない方を対象に、本県が選ばれるよう記事コンテンツを作成し情報発信及び二拠点居住者の実態把握・分析を行うための経費。(委託料) 10,054千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本県の移住相談窓口等を通じて移住決定した若年世代 (20~40代) の移住組数 (+64組)</p> <p>②文化芸術活動を実践している県民の割合 (+8.3%)</p> <p>③県内1医療機関あたりの胚培養士の平均人数 (+0.75人)</p> <p>④県外出身者で県内保育士養成校に入学し、卒業後、県内保育所等へ就職した就職率 (+3%)</p>	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

地域課題解決人材育成事業】

申請者	山梨県都留市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	109,726千円 (21,296千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習塾を創設し「自ら学び自ら考える」力を育成し地域課題を解決する人材の育成を行う ・現役世代を対象として市民大学創設し地域での起業マインドの形成、現役世代のデジタル社会形成への寄与につなげる ・生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材育成を行う 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○「自ら学び自ら考える」力を育む探究型学習プログラム提供のための探究型学習塾創設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人等委託費 15,730千円 <p>○社会貢献のマインド醸成やキャリア形成支援を現役世代を対象に行う市民大学整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師旅費 75千円 ・講師謝礼 348千円 ・需用費 155千円 <p>○ARアプリや連動するゲームを活用した、生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材を育成する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルプラットフォーム構築事業委託費4,988千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①都留文科大学卒業生の市内定着率 (+1.90%) ②この事業を通して創出した雇用数 (+24人) ③この事業を通じて創出したデジタル人材育成数 (+2,130人) ④この事業を通して創出した関係人口数 (+520人) 		

事業概要【韮崎産ワインプロモーション事業】

推進当初

申請者	山梨県韮崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,581千円 (14,566千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にワイナリーが増えることにより、市産ぶどう及びワインの産地化やブランド化を図る ・地域農業の担い手の確保や耕作放棄地削減、新たな雇用の創出や人口減少対策、市特産品とのペアリングや市内飲食業等との連携によるマリアージュ等、様々な分野に対して相乗効果と好循環を生み出すことを目指す 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模ワイナリー開業予定者サポート事業 ・醸造技術、製造免許を取得するための研修 (委託料) 300千円 ○果樹新植苗購入費補助金 ・ワインの原料となるブドウの生産量増大に向け、ブドウの苗木購入に要する経費に対する補助 (補助金) 1,400千円 ○ワイナリー整備事業費補助金 ・ワイナリーの開業又は事業拡大における施設又は設備整備に対する補助 (補助金) 5,000千円 ○ワイン原料用ぶどう栽培棚等設置事業費補助金 ・醸造用ブドウの生産に必要な栽培棚を新設もしくは、事業拡大を目的に改修する者に対する補助 (補助金) 2,855千円 ○ワインフェス、ワインセミナー等開催経費 (補助金) 5,011千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小規模ワイナリー開業数 (+3箇所) ②支援事業を通じた不耕作及びその恐れのある農地の減少面積 (+240アール) ③市内における醸造家へと育成する者の発掘及び市外からの呼び込み (+9人) ④小規模ワイナリー開業予定者サポート事業利用者数 (+6人)	関連URL (交付金の具体的用途・実施体制) https://www.city.nirasaki.lg.jp/sangyo_s_higoto_jigyosha/4/7862.html (効果検証) https://www.city.nirasaki.lg.jp/soshikiichiran/digitalsenryakuka/jinkotaisakutanto/1_3/5266.html	

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,590千円 (6,080千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京圏に近いことを強みに、豊かな自然環境と利便性を求める人に魅力を訴求することで、移住の促進を図る ・移住者の求める仕事や若者が東京圏へ行かなくてもできる仕事の環境を整える ・山梨県の東の玄関口という特徴を活かし、県の特産品を軸に当市を訪れてもらい、認知度の向上を図る ・他の地域と差別化し、「若者が住みたくなるまち上野原」を目指す 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○YouTubeやSNSでの移住等の情報発信や市の魅力を伝える移住ハンドブックの作成 ・動画作成・情報発信 (委託費) 730千円 ・移住ハンドブックの作成 (委託費) 2,000千円 ・移住者等交流会開催 (報償費) 50千円 ○移住者等を講師とした学びの場・交流会の開催や起業を考えている移住者等を対象とした起業・創業セミナーの開催 ・学びの場・交流会の開催 (委託費) 1,200千円 ・起業・創業セミナー開催 (委託費) 600千円 ○市をPRするための県内の特産品を軸としたイベントの開催や出展 ・イベント開催・参加費用 (補助金・委託費) 1,500千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者数 (+45人) ②空き家・空き店舗の登録件数 (+60件) ③施設利用者数 (研修会やイベント参加者) (+150人) ④YouTube再生回数 (+300回) 		関連URL https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html	

事業概要【山中湖村版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業】

推進当初

申請者	山梨県山中湖村	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	297,439千円 (115,225千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・閑散期に大規模イベントを開催し、経済波及効果を高めるとともに通年型観光を再構築する。 ・「ウェルネス」をテーマに新機軸の体験コンテンツを開発し誘客促進を図る。 ・域内の他産業と連携した体験プログラムの開発、訴求により地域全体の活性化を図る。 ・地域一体となって、観光や富士山目的にとどまらない滞在体験を開発することで観光振興を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントを活用した集客事業 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント運営、設営、撤去 (補助金) 96,816千円 ・SNS等による広告宣伝費用 (役務費) 6,000千円 ○ウェルネスをテーマにした旅行商品の造成 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品開発、プロモーション (補助金) 5,000千円 ○ウェルネスツーリズム受入基盤整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・村内事業者向け勉強会の開催 (補助金) 900千円 ○教育旅行団体受入促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・営業用パンフレット制作 (印刷費) 3,000千円 ・体験コンテンツPR動画作成 (手数料) 3,509千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①事業を通じた旅行消費額 (+107.51億円) ②延べ宿泊者数 (携帯電話基地局からの位置情報データ (モバイル空間統計) を活用した宿泊者数を設定) (+348,597人) ③「ウェルネス」着地型旅行体験コンテンツ造成数 (+15件) ④山中湖村ファン数 (LINE@、Instagram、FaceBook、地域CRM基盤格納顧客会員数) (+2,400人) 		関連URL https://www.vill.yamanakako.lg.jp	

申請者	山梨県小菅村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	121,255千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・村まるごとマウンテンバイクトレイルの構築・運営による森林空間利用の拡大 ・ドローンを活用した村内配送システム及びスマートストア設置による生活利便性の向上及び関係人口の増大 ・村民、分数村民の集いの場構築による源流産業の担い手及び移住者の増加 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○森林空間利用による参加型アクティビティ創造 <ul style="list-style-type: none"> ・森林アクティビティの改善・運営 3,000千円 ・森林アクティビティに係る森林整備、運営チームの拡充・育成 3,000千円 ・新ルートの開通と運用 (ガイドライン制作等) 1,500千円 ・事業実施状況・実施運営体の運営と改善 2,000千円 ・レンタルバイク購入費 1,000千円 ○ドローンを活用した集落配送システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートストアの運営・改善 3,000千円 ・観光施設ドローン配送の運営・改善 2,000千円 ・医薬品配送・フードデリバリーの運営・改善 2,000千円 ○村内における分数村民の「つどい場」及び「源流地域づくり事業協同組合」の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・村内事業に関わる新たな人材ネットワークの拡充 2,000千円 ・つどい場構築に係る村民総参加による企画ワークショップの開催 3,500千円 ・村内コンテンツPR動画の制作および関連イベントの実施 2,500千円 ・つどい場構築に係る詳細設計施工費 4,500千円 		
KPI	①源流資源の維持・保全に係る事業の参加人数 (+1,100人) ②MTBトレイル等源流心を体験した人の数 (+5,000人) ③ドローンの配送回数 (+2,800回) ④源流産業に関連した仕事をする人の数 (延人数) (+25人)	関連URL	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/living/soumu/



事業概要【都内駅等での官民協働催事による情報発信とデジタル顧客管理】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,072千円 (14,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 東京都を最大のターゲットとして、小さな村の試みに賛同し、交流・関係人口に繋がる潜在的な人たちへめがけ、環境変化に強い情報発信策と関係人口の仕組みを構築する 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○官民協働催事とデジタル顧客管理のための事業費等 (委託料) 4,000千円 ○大田区産官学との教育・観光・産業連携のための事業 (委託料) 1,000千円 ○催事事業に係る経費 (委託料) 9,024千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①JR 駅等での特産品販売における購買客数 (+3.6万人) ②JR 駅等での特産品販売額 (+1,800万円) ③デジタル顧客管理による個人への特産品通信販売額 (+330万円) ④デジタル顧客管理による小売業者への特産品販売額 (+330万円) 	関連URL	(交付金の具体的使途・効果検証) https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html

事業概要【デジタルトランスフォーメーションによる山梨スタートアップ支援事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	390,361千円 (163,605千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	学生から社会人までを対象にDX人材の育成を図り、本県の地域産業が必要としているDX人材を確保し、中核的な人材としての活躍を促すとともに、スタートアップの育成・誘致・定着を図ることでスタートアップなどの魅力的な仕事や憧れとなる職場等が増やし、新たな雇用を創出し、産業の高付加価値化・地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○DXに関連したスキル等を獲得できる研修等の実施。(委託料、報酬、職員手当、共済費、旅費) 35,383千円 ○大学生等を対象としたデジタルスキルを獲得する研修を実施。(委託料) 62,876千円 ○官民の保有するデータを流通させ、利活用しやすい環境を提供。(委託料) 19,741千円 ○空飛ぶクルマのビジネスモデルの検討・検証(実証実験)を行うとともに、社会受容性向上を目的としたイベントを開催。(委託料、使賃料、旅費、役務費、報償費) 21,823千円 ○次世代を担うスタートアップ企業の誘致を図るため、スタートアップ企業や企業を志す者が集積する拠点において、シード期のスタートアップ企業やその予備軍に対して誘致を図る。(委託料、負担金：負担先QWS) 9,526千円 ○県内企業と共創するスタートアップ企業を募集し、オープンイノベーションの専門家が伴走支援を行うプログラムを実施。(委託料) 13,200千円 ○スタートアップ企業間の交流の場の整備。(賃借料) 1,056千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①県内企業の付加価値額 (+45,000百万円) ②DXマインド醸成講座受講者の内、DXに向けた行動を起こすと意識変化があった受講者の割合 (+90%) ③県内企業と県外スタートアップ企業のオープンイノベーション取り組み件数 (+15件) ④社会受容性向上イベント参加者数 (+600人) 	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

事業概要【地場産業や地域資源を活用した関係人口創出・拡大事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	81,400千円 (28,361千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>移住した「定住人口」でもなく、観光できた「交流人口」でもない、山梨県に居住していないものの、地域との継続的な関わりがある人という「関係人口」の考え方に重点を置きながら、関係人口へのステップを低くしその裾野を緩やかに広げるため、地域との繋がりを新たに創出し、継続的な関心や直接的な訪問・交流に結びつく取り組みを推進し、将来的な移住者の増加につなげる。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○新たな時代の信玄公祭り実現を目指すため、祭りのコンセプトに沿った魅力のあるサイドイベントを実施し、国内外への戦略的なPRを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(補助金) 5,000千円 <p>○富士山一周ルート(NCR)の登録に向けた自転車環境向上の取り組み等を進めるサイクルツーリズムの推進し、世界遺産富士山の麓を周遊する富士山一周ルートについて、山梨、静岡両県が中心となり民間団体と連携する官民共同の協議会を設立し、ナショナルサイクルルートNCR登録に向けたロゴマーク作成やサイクリストを引きつける魅力あるサイクリング環境(走行環境・受入環境)の創出、イベント開催、情報発信等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費、旅費、食料費、委託料、使賃料、負担金) 3,093千円 <p>○東京都・静岡県の近隣県との広域的な連携をより一層強化し、誘客を促進するための経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委託料・負担金) 6,600千円 <p>○就農希望者の掘り起こしに向け、情報発信に加え、長期農業研修につながるステップとして、都市住民を対象とした本県の農業を身近に感じてもらうツアーや、オンラインイベントの開催、年間随時受け入れ可能な農業体験を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委託料、報償費、旅費、需用費) 11,556千円 <p>○本県で開催される国際宝飾展の会期中におけるジュエリー産地プロモーションの取り組みに対して支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(補助金) 1,993千円 <p>○郷土学習コンクールの実施や事業成果を広めるための郷土学習実践研究発表大会の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(報償費、委員講師旅費・需用費) 119千円 		
KPI	<p>①10代・20代の観光入込客数 (+45千人)</p> <p>②観光消費額 (+322億円)</p> <p>③富士山一周ルートの主要な国道、県道における自転車通行台数 (+90台)</p>	関連URL	<p>山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)</p>

事業概要【多様性が強みとなる共生社会・誰一人取り残されないデジタル共生社会実現推進事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	293,787千円 (94,488千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	「誰も取り残されない、人に優しいデジタル化」の考えのもとデジタル技術を活用した共生支援の体制を整備し、誰もが個性や能力を活かし、地域コミュニティの一員として活躍できる「多様性が強みとなる共生社会」の実現を図るため、共生社会がもたらす効果や多様性尊重の重要性を県民一人ひとりが当事者意識を持ちながら理解するとともに、本県が多種多様な人材が集う場になるよう、共生社会の実現に関する取り組みを実施する。		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし外国人活躍ビジョン」のフォローアップ、検証・改定など取組全般に係る情報収集及び意見交換等を行うとともに、官民の関係機関の連携体制を構築する。(委員報償費、委員旅費、需用費) 245千円 ・外国人留学生在が本県で就職するにあたり必要となる基本情報や企業情報を掲載したポータルサイト等の保守運用を行い、外国人留学生の県内への就職及び県内企業の人材確保に向けた取組を支援する。(委託料) 423千円 ・県内企業と留学生(県内外)の交流会や企業説明会を行う外国人留学生合同就職フェアや日本での就職活動やインターシップに関する知識を習得するガイダンス等を開催。(委託料) 2,247千円 ・官民の関係団体・企業等を全県的にネットワーク化し適正な労働環境の整備に向けた機運の醸成を図る「やまなし外国人労働環境適正化ネットワーク」を設置。(報償費、旅費、使賃料) 141千円 ・外国人が安心して暮らせる環境づくりのために、地域で相談対応や情報提供等を行う外国人地域生活サポーターを設置する。また、サポーター研修会を開催する。(需用費、委託料) 2,254千円 ・外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の形成に向けて、県民の意識啓発等を推進するため、やさしい日本語講習や異文化理解・多文化交流事業の実施やホームページ運営を通じた情報発信を行う。(委託料) 1,062千円 ・災害時も在住外国人や外国人観光客が安心できるよう、災害時外国人支援情報コーディネーターを育成するほか、外国人向け防災訓練や外国人支援者向けセミナーを実施する。(委託料) 457千円 ・職業能力開発短期大学校を卒業した留学生在は在留資格が取得できることから、本県産業の人材の確保・育成を図るため、留学生受け入れを促進するため留学生向け進学説明会や情報誌への掲載及び留学生向け日本語補講を行う。(委託料・使用料および使賃料) 1,019千円 ・本県の共生社会化を推進していくため、県民主体となる推進母体の設置や、推進に関するPDCAを回すための機能を整えていく。また、県民の意識啓発を図るため、シンポジウムを開催。(報償費、旅費、需用費、使賃料) 1,759千円 ・企業と福祉のマッチング体制強化のため、障害者就労支援施設と企業とのマッチングを行う産福連携コーディネーターの設置や展示会等への出展を行う。(委託料) 10,289千円 ・高齢者の活躍の機会を創出するため、高齢者雇用を検討している企業担当者や就労意欲のある高齢者を対象に、高齢者雇用に積極的な県内企業を訪問する職場見学会を実施する。(委託料) 1,401千円 ・性的嗜好やジェンダーアイデンティティに関わらず、誰もが個性と能力を発揮できる、多様性を尊重する社会の実現に向け、理解の促進と普及啓発を図る取り組み(研修会等)を実施する。(報償費、旅費、需用費、委託料、使賃料) 1,038千円 ・誰もが身近な場所でパラスポーツを楽しめる環境を整備し、障害者の活力ある生活結びつけ、共生社会を実現する。(報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使賃料、補助金) 6,998千円 ・デジタルに関心のある中学生に対し、学ぶ・実装・フィードバックのサイクルを経験するプログラミング体験を提供する。(委託料) 11,277千円 ・学内で学んだスキルを応用し、実際の地域課題の解決を図るクリエイティブな課題解決型学習、実際の地域課題の解決を図るクリエイティブな課題解決型学習(PBL: Project Based Learning)を開催する。(委託料) 53,878千円 		
※経費内訳はR6年度 事業費			
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①県内大学等の留学生の県内就職率(+6%) ②高校進学ガイダンスに参加した外国人生徒の数(+30人) ③企業と障害者就労施設のマッチング件数(+90件) ④PBLプログラムを受講した子供たちのうち、身に付けたデジタルスキルを活用して自分に関わりのある地域の課題を自分の力で解決したいと考えている人数割合(+90%) 	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)
※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値			

事業概要【SDGsをテーマにした源流の村ブランディングプロジェクト】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,700千円 (8,800千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> SDGs活動を推進している丹波山村と協業することで企業価値を高められることをPRし、村外企業との連携を強めていく 村外企業の需要を上手く取り込みながら、企業版ふるさと納税の受け入れなどを行い、村の自主財源確保も目指す 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○SDGsをテーマにしたブランディングおよびPR活動 ・ブランディングおよび村外へのPR活動 (委託料) 600千円 ・地域産品を活用したレシピ開発とSNSを使った広報費 (委託料) 2,000千円 ○SDGsを推進する人材の育成 ・講師謝金 (委託料) 300千円 ・SDGsを推進する人材の研修費用 (委託料) 600千円 ○SDGsをテーマにした体験型プログラムの構築とイベント運営 ・体験型イベント調査研究費 (委託料) 1,200千円 ・イベント運営費 1,500千円 ○村内SDGs推進のためのコミュニティ活動運営費 ・村民向けSDGsセミナーの運営費 (委託料) 1,000千円 ・村内広報PR費用 (委託料) 400千円 ・コミュニティ拠点の運営 (委託料) 1,200千円			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①SDGsをテーマに開発したプログラムの数 (+16種類) ②SDGsをテーマにしたイベントの開催回数 (+15回) ③SDGsをテーマにしたイベントの来場者数 (+300人) ④プログラムを遂行する人材の育成 (+3人)		関連URL 令和6年8月公表予定	

事業概要【空き家の利活用を通じた地域コーディネーターによる関係人口の創出事業】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,834千円 (7,500千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターを中心として、村内で体験可能な自然体験等を通し、関係人口の創出を目指す。 ・関係人口の創出により、地域への二拠点居住者・移住者の受け入れに繋げていき、受け皿となる空き家の利活用を同時に進めていく。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コーディネーター育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用協議会運営業務 (委託料) 1,000千円 ・関係人口創出のためのイベント運営業務 (委託料) 1,000千円 ○空き家の利活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・村内空き家の情報の集約業務 (委託料) 900千円 ・空き家窓口設置業務 (委託料) 900千円 ・空き家所有者を対象とした啓もう事業 (委託料) 400千円 ・ドローン航空測量業務 (委託料) 900千円 ・空き家情報のGIS集約業務 (委託料) 1,800千円 ・体験型イベント開催業務 (委託料) 600千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①空き家バンク登録物件数 (+26件) ②空き家の利活用件数 (+13件) ③関係人口創出のためのイベント参加者数 (延べ人数) (+800人) ④当事業での利活用が可能になった空き家への移住者数 (延べ人数) (+21人) 		関連URL 令和6年8月公表予定	

事業概要【DX人材育成エコシステム創出事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	512,099千円 (149,188千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AI技術を活用し、中小企業等がDXのための具体的な行動(要件仕様定義・外注等)に至る枠組みを提供 ・県内大学生をDX人材として育成・DX推進の担い手にすることで、DX実現上の資源(ヒト・カネ)面の課題を解消 ・県内企業のDX推進の加速/将来的なDX人材の育成・供給のための自発的な循環サイクルの構築 ・若手人材を中心とした将来の地域リーダーの養成と、地域での成功体験・魅力再発見による大学生の県内定着 			
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>① 生成AIを活用したDX推進支援プラットフォーム「山梨Creative Cloud Service (以下「山梨CCS」という。)」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組1. 生成AIを用いた仕様書生成機構の構築 (委託料) 78,920千円 ・取組2. 中小企業等のDXニーズと県内DX人材のマッチング基盤の整備 (委託料) 12,034千円 <p>② 山梨県内DX人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組1: 県内商工会へのDX技術の啓蒙による山梨CCS活用の下地作り (委託料) 16,049千円 ・取組2: 県内大学生のDXリテラシーの修得 (委託料) 28,321千円 ・取組3: 中小企業等のDX課題解決を担える県内大学生の育成 (委託料) 13,864千円 		<p>③ DX人材育成エコシステム推進協議会 (専門家や関係団体等による外部有識者会議)</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①山梨CCSを通じたDX支援案件数 (+279件) ②中小企業等のDX取り組み支援が可能な人材数 (+84人) ③地域における新規雇用者数(※) (+52人) <small>※県内大学生等の県内企業への新規就業者数</small> 		関連URL https://www.pref.yamanashi.jp/eisaku/sogokeikaku/shin-sougoukeikaku.html (P.147 4 DX人材育成エコシステムの形成)	

事業概要【「美酒・美食王国やまなし」建国プロジェクト】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	305,524千円 (103,966千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>・本県は全国に誇れる落葉果樹の産地として発展し、生産量日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき等の様々な果樹が生産されている。</p> <p>・果樹をはじめとした県産食材の魅力を観光分野においても最大限に活用するため、本事業を通じて、「美酒・美食」をテーマに農業振興⇔観光振興の好循環実現を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【「美酒」に関する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美酒美県やまなしテロワール確立事業 (委託料) 6,840千円 ○美酒美県やまなし需要拡大事業 (委託料) 7,410千円 ○山梨有機ワイン推進事業 (委託料) 1,711千円 <p>【「美食」に関する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データ農業技術確立・普及事業 (報償費、需用費、委託料) 5,442千円 ○データ農業技術確立・普及事業 (備品購入費) 8,476千円 ○「やまなし野菜」産地強化事業 (補助金) 1,500千円 ○新規就農者育成支援事業 (補助金) 14,387千円 ○グルマン・エコミー会議 (仮称) 推進事業 (報償費、旅費、需用費、委託料、使賃料) 12,720千円 ○食材コーディネーターを活用した流通活性化事業 (委託料) 13,170千円 ○若手シェフ誘致推進事業 (委託料) 5,854千円 ○やまなしスイーツブランド化推進事業 (報償費、旅費、委託料) 7,706千円 ○インバウンド観光プロモーション事業 (委託料、負担金) 14,250千円 ○クレジットカード会社連携美食プロモーション事業 (委託料) 4,500千円 <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>		
KPI	<p>①地域における農林水産出荷額 (県産農産物出荷額) (+155.31億円)</p> <p>②観光入込客数 (+5,446千人)</p> <p>③甲州ワイン・日本酒の年間輸出货量 (+102KI)</p>	関連URL	<p>山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【デジタル人材育成・職場環境整備促進プロジェクト事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,206千円 (11,402千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の深刻化によって生じる労働力不足、特にデジタル分野の人材不足が課題。 働きたくても十分に働けていない潜在的な労働力である女性を掘り起こし、女性のデジタル分野におけるスキルアップやリスキングを後押しするとともに、働きやすい雇用環境の整備を支援することで、女性の労働参画を促し、労働市場全体の生産性向上や労働供給の増加を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○デジタル人材育成・就労支援事業 時間や場所に制限されないオンラインによるデジタルスキルを習得する研修プログラムを実施し、修了者に対してキャリア相談や希望する就労形態の就労機会を提供する就労支援を行う。(委託料) 11,402千円</p> <p>○男性育児休業取得促進事業 国の両立支援等助成金の受給要件である男性従業員が育児休業を取得しやすい雇用環境を整備する県内中小企業に対して支援する事業を実施する。(補助金) ※別財源で事業執行</p> <p>○「豊かさ共創社会」実現のための連携体制構築 キャリア形成期の働く者のスキルアップ志向を満ちし、産業界のニーズに即した実践的なキャパシティビルディングやリスキングが可能となる環境を整備する。(補助金) ※別財源で事業執行</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における人口一人当たりの労働生産性 (+653千円) ②県内人口の転出超過数 (20歳～49歳) (▲605人) ③豊かさ共創スリーアップ推進協議会参加企業数 (+600社) ④厚生労働省の「両立支援等助成金 出生時両立支援コース」(1人目)の申請企業数 (+45件) 	関連URL	調整中

事業概要【ポストコロナ期の北杜デジタルファンクラブ創出プロジェクト】

推進当初

申請者	山梨県北杜市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,490千円 (6,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・『ほくとファンクラブ』の組成し、『山梨県北杜市』の認知度の向上を図る。 ・若い世代特に女性に向けた情報発信による若者・女性の関係人口の創出、二拠点居住や定住の促進を図る。 ・情報共有・発信のデジタル基盤整備により、新型コロナウイルス等による活動停滞を回避し継続的活動を可能にする。 ・一過性でない情報発信体制や基盤を構築し、継続的安定的な魅力発信を可能にする。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○ファンクラブ会員に向けた情報発信基盤構築事業 1.SNSインシャルコスト 55千円 2.SNSランニングコスト 713千円 ○ファンクラブ企画運営管理事業 1.ブランディングプロデュース(委託料) 1,650千円 2.ファンクラブ運営管理(委託料) 1,628千円 3.ファンクラブイベント開催(委託料) 2,154千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①北杜市へのUIターン数 (+9世帯) ②ほくとファンクラブ会員数 (LINE登録者数) (+450人) ③地元事業者との連携数 (+30事業者) ④ほくとファンクラブ会員のマイド [※] の変化 (+90mGAP) ※修正地域参画総量指標		関連URL https://www.city.hokuto.yamanashi.jp

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	52,536千円 (17,688千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリの実装による市民レベルにおける「子育て・生活共助コミュニティ」の形成。 ・子育て世帯の孤立・孤独化を防ぐための子育ての負担を地域全体で共有する体制構築。 ・若年層や元気なシニア世代の活用も含めた暮らしや子育てを共助するコミュニティタウンの創出。 ・働き方の多様化にあわせた、起業や副業、特技を活かしたライフワークや市民活動への参加などの支援の充実。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティの担い手発掘・育成と地域交流イベント事業 ・地域コミュニティの担い手の発掘・育成・支援 (委託料) 3,740千円 ・地域交流会等の企画、運営、周知PR費用 (委託料) 7,348千円 ○情報共有及び生活・子育て共助を促すアプリ等実装事業 ・専用アプリ実装に伴う初期準備等費用 (委託料) : 2,200千円 ・専用アプリの運営管理、利活用活性化費用 (委託料) : 4,400千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域への転入者の数 (+50人) ②育成人材数：生活及び子育て支援コミュニティ形成に取り組む地域の担い手 (「シェア・コンシェルジュ」) の数 (+28人) ③シェア・コンシェルジュによる地域活性化のための自主活動の数 (例：交流イベント実施回数) (+54回) ④「子育て・生活共助コミュニティアプリ」内における共助数 (+200件) 	関連URL	https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html

事業概要【丹波山村 暮らしと観光のDX推進事業】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,500千円 (24,370千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少を食い止めるため、地域産業の生産性向上、地域収益の最大化、暮らしの利便性向上が求められており、これらをデジタルシフトすることで実現していく 観光を主要産業とする本村としては、【暮らしDX】【観光DX】の2つをテーマとして実施していく 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル人材の人件費 <ul style="list-style-type: none"> ・採用費用 (委託料) 720千円 ・人件費 (委託料) 7,000千円 ・研修費用 (委託料) 900千円 ○デジタルセンターによる観光地経営の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルセンター設置費用 (委託料) 1,150千円 ・調査費用 (委託料) 1,500千円 ・導入システム設計費用 (委託料) 3,450千円 ・村民会議の実施 (委託料) 5,500千円 ○デジタル活用による新たな観光人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・調査費用 (委託料) 800千円 ・導入システムの設計 (委託料) 2,200千円 ○PC機器、什器の購入費用 (備品) 1,150千円 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <pre> graph TD DV[丹波山村] --- 連携 --- DDC[丹波山村デジタルセンター(仮称)] DDC --- 効果的な情報発信 --- TK((観光客)) DDC --- DXによる経営支援 --- DYS((地域事業者)) </pre> </div> </div>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①当事業による地域における新規雇用者数 (+5人) ②住民へのデジタル活用サポート網羅率 (+90%) ③丹波山村デジタルセンターシステムの地域事業者導入率 (+55%) ④観光経営の高度化の実現による観光来村者の増加数 (+1.5万人)	関連URL	調整中

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【モノづくりの伝統技術とデジタル技術が織りなす、 イノベーション支援拠点整備事業～高付加価値製品開発と新規分野への参入～】

拠点当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	932,429千円 (606,379千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分) ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内の機械電子産業及び繊維産業に対する製品開発への支援に加え、センター職員による技術支援や販路拡大への支援等一貫したトータルサポートを行うことで、モノづくりにおける製品の高付加価値化やブランド価値向上を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・高い技術力を持つが資金力の弱い中小製造業のために、高水準の技術・開発力を支える先端機器を導入。 ・導入機器を適切に管理し、中小製造業のチャレンジングな製品・試作開発を支援するため、温度・湿度の管理機能等を備えた施設を整備。 <p>○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容</p> <p>【建築物本体工事】 建築工事費等 199,892千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 60,421千円、機械設備工事費 139,141千円</p> <p>○効果促進事業 (ハード事業) の内容</p> <p>【舗装工事・撤去工事】 45,729千円</p> <p>【イノベーション支援拠点機器整備事業】 142,615千円</p> <p>【既存棟電気工事】 18,581千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①医療機器関連産業における新分野への参入件数 (+30件) ② B t o C 向け繊維製品の平均売上比率 (B t o C 製品売上額 / 売上総額) (1社当たり) (+20%) ③医療機器の製品開発に関連する支援件数 (+114件) ④ B t o C 向け繊維製品の開発に関連する支援件数 (+85件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/index.html</p>

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【都留フィールド・ミュージアム（仮称）整備事業】

拠点補正

申請者	山梨県都留市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	815,772千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>今回新たに整備する「都留フィールド・ミュージアム（仮称）」と周辺の既存施設を含めたエリア一帯において、産、官、学、民の相互連携による子どもから大学生、高齢者までのあらゆる世代の交流を通じて「新規産業の創出」や「地元企業への就業」、「移住の促進」など、様々な「暮らし方」に特化したコンテンツ発信を行い、人口減少・少子高齢化を克服し、総合計画で定める将来像「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現を目指す。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>「都留フィールド・ミュージアム（仮称）」には、現在、都留文科大学内において地域づくりのための様々な活動と研究を行っている「地域交流研究センター」を移転・設置し、地域と密接な連携手法の研究や実践を行っていく、ドゥ・タンク機能を持つ「地域内シンクタンク」として活動を活発化させていく。また、Wi-Fi整備によるオンラインミーティングへの対応や実施するイベント・講座へ大学において研究しているVR技術を導入する等、デジタル技術の活用とともに学生・市民が新たな技術に触れることのできる施設整備とする。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備工事費 542,310千円 ・外構工事費 13,670千円 ・ネットワーク環境整備費 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+150人） ②都留文科大学学生の地域貢献活動に参画する者の割合（+33.0%） ③都留文科大学卒業生の市内定着率（+0.6%） ④本施設の一般市民・団体による施設利用回数（+650回） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku_t/13444.html</p>

事業概要【葦崎大村記念公園賑わい創出、地域の魅力発信事業】

拠点補正

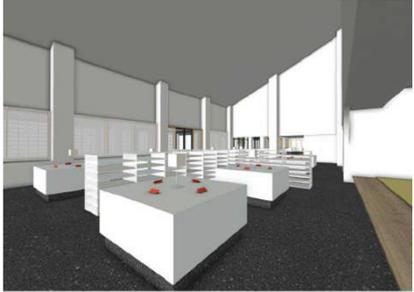
申請者	山梨県葦崎市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	121,948千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	葦崎大村記念公園内に、日本の伝統文化である「茶室」を整備し、公園内の官民施設と連携したイベントの実施や地元農産物を使った新商品の開発及び周辺地域の自然歴史文化資源を活用したまちあるきツアーの実施を進めることにより、交流人口の増加と文化芸術観光の振興を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>葦崎大村記念公園内において、旧畠山一清邸新座敷（茶室）等の移設復元と水屋の増築を行い、関係団体と連携したイベントの開催や地元農業法人と共同した新商品開発等を行うとともに、デジタルサイネージやデジタルコンテンツ（AR）のデジタル技術活用により、公園内施設及び周辺地域の誘客向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶室、水屋、腰掛待合整備費：113,610千円 ・ARコンテンツ制作費：8,000千円 ・デジタルサイネージ設置費：338千円 		
KPI	<p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+29,670千円） ②葦崎大村記念公園エリアの来場者数（+4,646人） ③観光交流拠点（茶室）の年間利用回数（+111回） ④観光・交流に対する市民満足度（+0.6%） 	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証）</p> <p>https://www.city.nirasaki.lg.jp/so-shikiichiran/digitalsenryakuka/jinkotaisakutanto/1_3/9026.html</p>



旧畠山一清邸新座敷【移設復元】

事業概要【道の駅西嶋和紙の里（仮称）整備事業】

拠点補正

申請者	山梨県身延町	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	313,400千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野	
目的（効果）	既存施設の「西嶋和紙の里」を「道の駅」として再整備し、本町の地域特産物である「あけぼの大豆」をはじめとした農産物の販売と「あけぼの大豆」を常時食べることができるスポットとするとともに、伝統工芸品である「西嶋和紙」とともにブランディングし、人々の交流を促進させ地域の拠点とすることを再整備の目的とする。			
整備内容・利活用方策	道の駅において、地域特産品の「あけぼの大豆」を使った食事の提供や伝統工芸品である西嶋和紙のPRや振興を図るとともに、デジタルサイネージ等のデジタル技術活用により、売上向上を目指す。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】建築工事費 121,400千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費 32,700千円、機械設備工事費 66,500千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 ・芝生広場再整備工事費：43,900千円 ・デジタルサイネージ設置費：5,800千円 ・芝生広場内遊具整備費：21,900千円 ・厨房機器整備費：10,400千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 ・家具備品整備費：10,800千円		  	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+110人） ②観光入込客数（+5,492百人） ③道の駅年間来場者数（+627百人） ④道の駅年間売上高（+153,909千円）		関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【モバイル建築を活用した住宅整備による移住促進事業】

拠点補正

申請者	山梨県丹波山村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	99,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>移住希望の数に対し供給が追いついていない賃貸用住宅を、モバイル建築を活用して整備し、山村留学や地域おこし協力隊などの制度による都市部からの移住を促進する。若い世代の移住者を増やしていくことで、人口減に歯止めをかけ、人口の若返りを図る。また、今般の能登半島地震のような大規模災害の発生時には、被災地へ住宅を貸し出したり、避難者の受入拠点として転用できるようにしたりすることで、災害に対する社会的備蓄を進める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>一般住宅と同等以上の安全性、耐久性、断熱性を備えた住宅を、モバイル建築を活用して村内に整備し、移住者に快適な住環境を提供する。子育て世帯用の住宅としても、単身の若者用のシェアハウスとしても活用できる広さと性能を備えることで、住宅の活用の幅を広げ、効果的な移住者の受入を実践する。</p> <p>施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費71,500千円 【建築物と不可分な設備工事】設備工事費27,500千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①UIターン数（+50人） ②住宅稼働率（+450%） ③移住問合件数（+70件） ④現地見学者数（+45人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp</p>